⑹　技術提案のプレゼンテーション
　技術提案のプレゼンテーションを下記の要領で実施する。
　①　期間：平成21年10月５日（月）から平成21年10月９日（金）のいずれかを予定
　②　方法：技術提案プレゼンテーションについては、技術提案の説明（20分以内）後に、質疑応答（10分）を行う。
　③　その他：申請者別のプレゼンテーション日時及び場所は、追って通知する。なお、プレゼンテーションの説明者は、原則として配置予定技術者とする。
⑺　開札（入札執行）の日時、場所
　①　開札日時：平成21年11月６日（金）14時00分
　②　場所：記４⑴の中日本高速道路株式会社東京支社７階入札室
５　その他
⑴　契約の手続において使用する言語及び通貨は日本語及び日本国通貨に限る。
⑵　入札保証金及び契約保証金
　①　入札保証金　免除
　②　契約保証金　納付
　ただし、有価証券の提供又は金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。
⑶　入札の無効
　本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書、申請書等に虚偽の記載をした者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した者の提出した入札書は無効とする。また、入札時に単価表の提出のない者の行った入札書は無効とする。なお、提出された単価表を審査した結果、真摯な見積りを行っていないと認められたときは、その者の行った入札書を無効とする場合がある。なお、無効の入札を行った者を落札者としていた場合は落札決定を取り消すものとする。
⑷　落札決定の取り消し等
　申請書に虚偽を記述した者は、当該工事の競争参加資格の確認を取り消すとともに、「中日本高速道路株式会社工事・調査等の資格登録に関する要領」に基づく資格登録停止を行うことがある。また、入札者の故意又は重大な過失により入札書が無効となった場合は、当該入札者に対し、資格登録停止の措置を講じることがある。
⑸　配置予定監理技術者の確認
　落札者決定後、ＣＯＲＩＮＳ等により配置予定の監理技術者の専任制違反の事実が確認された場合は、契約を結ばないことがある。なお、病気、死亡、退職等の極めて特別な場合でやむを得ないものとして承認された場合の外は、確認資料の記載内容の変更は認められない。病気等特別な理由により、やむを得ず配置予定技術者を変更する場合は、記２⑸に掲げる基準を満たし、かつ当初の配置予定技術者と同等以上であると発注者が承認した者を配置しなければならない。
⑹　契約締結後、請負人は、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、発注者に提案することができる。提案が適正であると認められた場合には、設計図書を変更し、必要があると認められる場合には請負代金額の変更を行うものとする。詳細は特記仕様書等による。
⑺　低入札価格調査を受けた者との契約については、契約保証金の額を請負代金額の10分の３以上とするとともに、前払金の額を請負代金額の10分の２以内とする。なお、本措置は工事が進捗した場合の部分払の請求を妨げるものではない。
⑻　専任の監理技術者の配置が義務付けられている工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、監理技術者とは別に同等の要件を満たす技術者の配置を求めることがある（入札説明書参照。）。
⑼　申請書等の作成及び提出に要する費用は原則として提出者の負担とする。
⑽　提出された申請書等は、原則として返却しない。
⑾　手続における交渉の有無　無
⑿　契約書作成の要否　要
⒀　当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を、当該工事の請負契約の相手方と特命契約により締結する予定の有無　無
⒁　関連情報を入手するための照会窓口は、記４⑴に同じ。
⒂　一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加
　上記２⑵に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も記４⑶により申請書等を提出することができるが、入札に参加するためには、開札の日までに、当該資格の認定を受けていなければならない。
⒃　技術提案の採否
　技術提案の採否については、競争参加資格確認結果の通知に併せて通知する。なお、競争参加資格確認結果の通知において、技術提案による競争参加資格を認められなかった者は、不適格とする。
⒄　技術提案のプレゼンテーションを実施する。詳細は入札説明書による。
⒅　詳細は入札説明書による。
６　Summary
⑴　Official in charge of the contract of the procuring entity : Takahisa Takamatsu Director General of Tokyo Branch, Central Nippon Expressway Company Limited
⑵　Classification of the services to be procured : 41
⑶　Subject matter of the contract : Construction work of the New Tomei Expressway Kakegawa Higashi Pavingwork
⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification : 4 : 00 P.M. 28 September 2009
⑸　Time-limit for the submission of tenders : 14 : 00 A.M 6 October 2009
⑹　The language used for application and inquiry shall be Japanese.
⑺　Contact point for tender documentation : Contract team, corporate Department. Tokyo Branch, Central Nippon Expressway Company Limited 4―3―1, Toranomon, Minato-ku, Tokyo, 105―6011 Tel. 03―5766―5600

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
平成21年８月３日
（契約責任者）
中日本高速道路株式会社　東京支社
支社長　高松　隆久

◎調達機関番号　418　◎所在地番号　13
１　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　中部横断自動車道　八之尻トンネル工事（電子入札対象案件）
⑶　工事場　自）山梨県西八代郡市川三郷町黒沢
至）山梨県南巨摩郡増穂町大椚
⑷　工事内容　本工事は、トンネル掘削工事（１ヶ所―延長2,464m）を含む延長3,415m（土工量約235千㎥）の土木工事である。
⑸　工事概算数量
延長　3,415m
幅員　ＴＮ部　3.5m×２
土工量　235,000㎥
トンネル　１ヶ所―2,464m
横断構造物　Ｃ－ＢＯＸ　５基
⑹　工期　契約締結の翌日から1,860日間
⑺　使用する資機材
コンクリート　約33,000㎥
鉄筋　約510ｔ
ロックボルト　約44,000本
鋼アーチ支保工　約1,800基
⑻　本工事は、入札時に、入札説明書の設計図書に参考として示した図面及び仕様書において、あらかじめ指定する範囲についての工事目的物、施工方法及び仮設備計画に関する提案（以下「技術提案」という。）及び総合評価提案資料を求め、価格と価格以外の要素とを総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の試行工事である。
⑼　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の工事である。なお、入札時に施工方法等の提案を行い、その提案が採用された場合には、採用された提案に対する再度の提案は受け付けない。
⑽　本工事は、資料の提出、入札等を原則として電子入札システムで行う対象工事であり、当社ホームページに掲載の電子入札運用基準を適用する。なお、例外的に電子入札によりがたいものは、電子入札運用基準に基づき契約責任者の承諾を得て紙入札方式によることができる。
⑾　本工事は、すべての入札参加者から単価表の提出を求める工事である。